

法により分別結晶化をはかり、前報以外に2種の色素を単離し、それぞれについて吸収スペクトル、加水分解物、ペーパークロマトグラフ等を調べ本結晶の同定を行なった。

3. 得られた結晶はそれぞれ標品とRf値が一致すること、また1つはペラルゴニンとグルコースより、他の1つはシアニンとグルコースから構成され、部分加水分解及び吸収スペクトルなどより、ペラルゴニン-3,5-ジグルコサイドとシアニン-3,5-ジグルコサイドであることを見出した。

A-39 金時豆のアントシアン色素

帝塚山短大 ○吉倉 和子
奈良女大家政 浜口 陽一

1. 金時豆については、その色彩効果が賞用されているにも拘らず、その色素成分について明らかにされていないので、本実験を続けてきた。前報において、2種の色素を単離結晶化し、これらはペラルゴニン-3-モノグルコサイドとシアニン-3-モノグルコサイドであることを同定し、報告したが、本報では更に2種の色素を明らかにすることができたのでその結果を報告する。

2. 市販されている金時豆を0.5%塩酸-メタノールで冷浸し、抽出液を集めて減圧濃縮後、カラムクロマト